

資料 6-2-4

修士課程看護学専攻の旧教育課程（平成10年度～18年度）

区分	授業科目	授業を行う年次	単位数		履修形態
			講義	演習	
共通科目	看護教育学特論	1	2		選択必修
	看護学教育演習	1	2		
	看護管理論	1	2		
	看護理論	1	2		
	看護コンサルテーション論	1	2		
	研究方法論	1	4		
基礎看護学	基礎看護学特論	1	2		選択必修
	基礎看護学演習Ⅰ	1・後		2	
	基礎看護学演習Ⅱ	2・前		2	
	基礎看護学特別研究	2		10	
	健康科学特論	1	2		
	健康科学演習Ⅰ	1		2	
	健康科学演習Ⅱ	1		2	
	健康科学特別研究	2		10	
臨床看護学	成人看護学特論	1	2		
	成人看護学演習Ⅰ	1		2	
	成人看護学演習Ⅱ	1		2	
	成人看護学特別研究	2		10	
母子看護学	母子看護学特論	1	2		
	母子看護学演習Ⅰ	1		2	
	母子看護学演習Ⅱ	1		2	
	母子看護学特別研究	2		10	
地域・老年看護学	地域看護学特論	1	2		
	地域看護学演習Ⅰ	1・後		2	
	地域看護学演習Ⅱ	2・前		2	
	地域看護学特別研究	2		10	
	老年看護学特論	1	2		
	老年看護学演習Ⅰ	1		2	
老年看護学演習Ⅱ	1		2		
老年看護学特別研究	2		10		

- 履修する授業科目の選択に当たっては、所属する領域の専門科目16単位、指導教員の指導のもとに共通科目から6単位、所属する領域以外の科目及び共通科目から8単位以上の計30単位以上を履修するものとする。
- 所属する専門科目の履修に関しては、演習Ⅰ・Ⅱの履修の前提要件として、当該科目の特論の履修を要するものとする（演習のみの履修は不可）。
- 所属する領域以外の専門科目の演習Ⅰ・Ⅱを履修する場合は、Ⅰ又はⅡのいずれかを選択履修することができるものとする。
- 「看護学教育演習」履修の前提要件として、「看護教育学特論」の履修を要するものとする。

修士課程看護学専攻の新教育課程（平成19年度教育要項より）

履修する授業科目の選択に当たっては、指導教員の指導・助言のもとに、「共通必修科目」6単位、「共通選択科目」6単位以上、選択したコースにおいて「専門コース科目」8単位以上、「特別研究」10単位の計30単位以上を履修するものとする。

	授業科目	開講年次	単位	コース別履修科目		科目責任者	開講スケジュール
				管理教育	看護実践		
共通必修科目	看護理論	1	2	2	2	小幡	毎年・前期
	看護倫理	1	2	2	2	小幡	毎年・後期
	看護研究概論	1	2	2	2	井手	毎年・前期
共通選択科目	看護研究方法論	1	2	2	2	穴井	毎年・前期
	保健医療福祉政策論	1	2	2	2	杉田	毎年・後期
	看護コンサルテーション論	1・2	2	2	2	井手	隔年・集中・H.20～
	看護生涯教育論	1・2	2	2	—	福井	隔年・前期・H.21～
	看護実践イノベーション論	1・2	2	2	2	原田	前期（H.19～隔年）
	看護解剖学	1・2	4	4	4	島田	毎年・後期
	性差生物学	1・2	2	2	2	島田	隔年・前期・H.20～
	保健統計学特論	1・2	2	2	2	杉田	隔年・前期
	病態治療学	1・2	2	2	2	井上	毎年・後期
	看護アセスメント学特論Ⅰ	1・2	2	2	2	三重野	毎年・後期
看護アセスメント学特論Ⅱ	1・2	2	2	2	原田	隔年・集中・H20～	
特別講義	1・2	2	2	2	三重野	隔年・集中・H20～	
看護管理・教育コース	医療連携論	1・2	2	2	—	福井	隔年・前期
	看護組織論	1・2	2	2	—	福井	隔年・前期・H.20～
	看護人材育成論	1・2	2	2	—	原田	毎年・後期
	看護経営論	1・2	2	2	—	福井	隔年・前期・H.20～
	看護基礎教育論	1・2	2	2	—	小幡	隔年・前期
	看護専門職教育論	1・2	2	2	—	原田	隔年・前期・H.20～
	地域看護管理・教育論	1・2	2	2	—	井手	毎年・後期
健康と病いの社会学	1・2	2	2	—	杉田	隔年・前期	